



「未来志向」「ONE TEAM」で、JR産業に「安心」を取り戻そう！

2 0 2 2 年 3 月 1 8 日

日本鉄道労働組合連合会

JR東海ユニオン2022春闘交渉妥結

標準乗数「4」とする定期昇給の完全実施

夏季手当2.2ヵ月分

厳しい経営状況の中、組合員の想いを受け止め、

多くの制度政策要求の実現を勝ち取る！

J R 東海ユニオンは3月14日のJ R 連合「2022春季生活闘争代表者会議」での確認に基づき、翌15日に申10号「賃金引き上げ等に関する回答指定日について」を会社へ提出し、16日以降、速やかに回答するよう申し入れていたが、本で行った第7回団体交渉で会社から、令和4年度新賃金と夏季手当について上記の回答を引き出した。

J R 東海ユニオンは、回答を持ち帰り、執行委員会で協議した結果、オミクロン株による感染急拡大に伴い、移動需要の回復が見通せず、2期連続赤字予想となる厳しい経営状況の中、「未来づくり」の想いを込めたベースアップの実現には至らなかったものの、定期昇給の完全実施や夏季手当の支給など現下の会社の経営状況や取り巻く情勢を勘案すれば、最大限の回答を引き出したことや今次交渉を通じて、組合員の声を基礎とした制度政策要求各種制度・福利厚生等の総合生活改善において多くの実現（J R 連合春闘NEWSで既報）を勝ち取ったことなど、社業を支え続けてきた組合員の負託に最大限応えることができたものと判断し、妥結に至った。